

2025年3月期 第2四半期（中間期）決算短信〔日本基準〕（連結）

2024年11月14日

上場会社名 株式会社秋川牧園 上場取引所 東
 コード番号 1380 URL <https://www.akikwabokuen.com/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 秋川 正
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役経営管理部長 (氏名) 原田 良人 TEL 083-929-0630
 半期報告書提出予定日 2024年11月14日 配当支払開始予定日 ー
 決算補足説明資料作成の有無：無
 決算説明会開催の有無：無

（百万円未満切捨て）

1. 2025年3月期第2四半期（中間期）の連結業績（2024年4月1日～2024年9月30日）

（1）連結経営成績（累計）

（％表示は、対前年中間期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 中間純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年3月期中間期	3,776	4.0	△99	ー	△58	ー	△48	ー
2024年3月期中間期	3,632	8.8	47	ー	127	269.0	86	438.5

（注）包括利益 2025年3月期中間期 △29百万円（-％） 2024年3月期中間期 84百万円（-％）

	1株当たり 中間純利益	潜在株式調整後 1株当たり 中間純利益
	円 銭	円 銭
2025年3月期中間期	△11.60	ー
2024年3月期中間期	20.73	ー

（2）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2025年3月期中間期	7,038	2,115	30.0	506.42
2024年3月期	7,050	2,187	31.0	523.57

（参考）自己資本 2025年3月期中間期 2,111百万円 2024年3月期 2,182百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2024年3月期	ー	0.00	ー	10.00	10.00
2025年3月期	ー	0.00			
2025年3月期（予想）			ー	10.00	10.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2025年3月期の連結業績予想（2024年4月1日～2025年3月31日）

（％表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	7,810	5.7	△11	ー	35	△77.2	3	△96.4	0.84

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無：有

※ 注記事項

(1) 当中間期における連結範囲の重要な変更：無

新規 ー社 (社名) ー、除外 ー社 (社名) ー

(2) 中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(注) 詳細は、添付資料P. 7「2. 中間連結財務諸表及び主な注記(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項(会計方針の変更に関する注記)」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

2025年3月期中間期	4,179,000株	2024年3月期	4,179,000株
2025年3月期中間期	9,878株	2024年3月期	9,878株
2025年3月期中間期	4,169,122株	2024年3月期中間期	4,169,123株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(中間期)

※ 第2四半期(中間期)決算短信は公認会計士又は監査法人のレビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 2「1. 経営成績等の概況(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当中間期の経営成績の概況	2
(2) 当中間期の財政状態の概況	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 中間連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 中間連結貸借対照表	3
(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書	5
中間連結損益計算書	5
中間連結包括利益計算書	5
(3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書	6
(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項	7
(会計方針の変更に関する注記)	7
(セグメント情報等の注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(継続企業の前提に関する注記)	9

1. 経営成績等の概況

(1) 当中間期の経営成績の概況

当中間連結会計期間(2024年4月1日～2024年9月30日)におけるわが国の経済は、緩やかな回復の動きが継続したものの、不安定な国際情勢の継続、中国経済の減速、為替相場の急激な変動、物価の上昇など、依然として先行き不透明な状況が続きました。食品業界につきましては、原材料や人件費など様々なコストが上昇する中で、実質所得の減少を背景とした消費者の節約シフトが進んでおり、厳しい事業環境となっております。

当社グループにつきましては、コロナ禍の終息に伴う宅配特需からの反動減の影響がありましたが、2024年3月に連結子会社化した秋川牧園(常州)農業有限公司が加わったことや、製品の値上げ効果等により売上高は増加しました。利益面につきましては、売上増及び値上げによるプラス要因がありましたが、人財の確保に向けての人件費の増加や昨年11月に建設した新直販物流センターの償却負担といった今後の成長に向けての戦略的投資要因に加えて、円安による飼料価格の高止まりなど様々な仕入コストの上昇、飼料価格安定基金からの補填金収入の減少等の要因により減益となりました。

直近におきましては、飼料価格が10月から値下げに転じたというプラス要因に加えて、卸販売及び直販の双方における販売強化及び値上げの浸透、各工場の生産性向上など様々な取り組みを精力的に進めているところであります。

以上の結果、当中間連結会計期間の売上高は、37億76百万円(前年同期比4.0%増)、営業損失は99百万円(前年同期は47百万円の営業利益)、経常損失は58百万円(前年同期は1億27百万円の経常利益)、親会社株主に帰属する中間純損失は48百万円(前期は86百万円の親会社株主に帰属する中間純利益)となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

(生産卸売事業)

生産卸売事業につきましては、中国において鶏肉の生産と販売を展開する秋川牧園(常州)農業有限公司が連結子会社に加わったことや、日本国内における製品の値上げ効果等により、売上高は増加しました。利益面につきましては、人件費の上昇や2024年2月に行った冷凍設備の更新投資に伴う減価償却費の増加といったコストアップ要因に加えて、在庫水準の調整に伴うミート工場及び冷凍食品工場の生産性の低下、鶏卵の販売減に伴う需給バランスの悪化等の要因により減益となりました。

この結果、生産卸売事業の売上高は、29億60百万円(前年同期比5.9%増)、営業利益は1億42百万円(前年同期比30.0%減)となりました。

(直販事業)

当社の食を中心とした安心・安全な食品を全国の個人の消費者に直接お届けする直販事業につきましては、値上げ効果がありましたが、コロナ禍の終息に伴う宅配特需からの反動減により売上高は対前年比で減少しました。利益面につきましては、売上の減少要因に加えて、昨年11月に建設した新物流センターの減価償却費の増加や人件費の上昇、会員募集費の積極的な投入などのコストアップ要因により減益となりました。8月以降は販売が前年を上回る良い流れが継続しております。10月からはさらに値上げも行いつつ損益改善を図ってまいります。

この結果、直販事業の売上高は、8億16百万円(前年同期比2.4%減)、営業損失は11百万円(前年同期は58百万円の営業利益)となりました。

(2) 当中間期の財政状態の概況

当中間連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べ、12百万円減少し、70億38百万円となりました。これは主に、未収入金の増加(66百万円)、建物及び構築物(純額)の増加(49百万円)、原材料及び貯蔵品の減少(70百万円)及び受取手形、売掛金及び契約資産の減少(58百万円)によるものであります。

負債につきましては、前連結会計年度末に比べ59百万円増加し、49億22百万円となりました。これは主に、短期借入金が増加した1億29百万円増加したことによるものであります。

純資産につきましては、前連結会計年度末に比べ71百万円減少し、21億15百万円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期の業績予想につきましては、売上高は消費者の節約シフトが進んでおり、当初の予想を下回る見込みであります。利益面につきましては、上半期の業績の下振れに加えて、在庫水準の調整に伴う冷凍食品工場の生産性の低下、中国事業の販売の苦戦などにより、当初予想を下回る見込みであります。

詳細につきましては、本日(2024年11月14日)公表いたしました「2025年3月期 第2四半期(累計)業績予想と実績との差異及び通期業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. 中間連結財務諸表及び主な注記

（1）中間連結貸借対照表

（単位：千円）

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当中間連結会計期間 (2024年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	696,356	670,191
受取手形、売掛金及び契約資産	926,308	867,452
商品及び製品	416,411	456,628
仕掛品	428,244	443,220
原材料及び貯蔵品	239,360	168,701
未収入金	18,386	84,782
その他	140,962	66,708
貸倒引当金	△4,875	△5,583
流動資産合計	2,861,155	2,752,102
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	1,858,948	1,908,101
機械装置及び運搬具（純額）	554,700	566,184
使用権資産（純額）	157,493	169,096
土地	1,083,788	1,085,311
建設仮勘定	82,011	64,693
その他（純額）	130,663	134,606
有形固定資産合計	3,867,605	3,927,994
無形固定資産		
のれん	5,168	3,344
その他	33,404	29,188
無形固定資産合計	38,572	32,532
投資その他の資産	283,144	325,836
固定資産合計	4,189,322	4,286,363
資産合計	7,050,478	7,038,466
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	456,195	487,380
短期借入金	1,365,928	1,495,377
リース債務	20,343	20,937
未払法人税等	30,016	20,541
賞与引当金	45,496	88,174
その他	573,263	447,450
流動負債合計	2,491,243	2,559,861
固定負債		
長期借入金	1,858,069	1,844,531
リース債務	121,806	135,782
繰延税金負債	10,165	9,896
退職給付に係る負債	320,466	333,226
役員退職慰労引当金	61,647	39,232
固定負債合計	2,372,155	2,362,669
負債合計	4,863,398	4,922,531

(単位:千円)

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当中間連結会計期間 (2024年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	714,150	714,150
資本剰余金	553,441	553,441
利益剰余金	874,992	784,951
自己株式	△5,881	△5,881
株主資本合計	2,136,702	2,046,661
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	51,579	53,819
為替換算調整勘定	△5,447	10,838
その他の包括利益累計額合計	46,131	64,657
非支配株主持分	4,245	4,615
純資産合計	2,187,079	2,115,934
負債純資産合計	7,050,478	7,038,466

（2）中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書

（中間連結損益計算書）

（単位：千円）

	前中間連結会計期間 （自 2023年4月1日 至 2023年9月30日）	当中間連結会計期間 （自 2024年4月1日 至 2024年9月30日）
売上高	3,632,541	3,776,477
売上原価	2,752,796	2,912,722
売上総利益	879,745	863,755
販売費及び一般管理費	832,092	962,889
営業利益又は営業損失（△）	47,653	△99,134
営業外収益		
受取利息	158	285
受取配当金	811	993
補填金収入	59,754	10,493
受取保険金	—	393
補助金収入	19,287	22,885
為替差益	—	8,506
その他	7,151	10,869
営業外収益合計	87,162	54,427
営業外費用		
支払利息	6,823	13,785
その他	—	125
営業外費用合計	6,823	13,910
経常利益又は経常損失（△）	127,992	△58,618
特別利益		
固定資産売却益	2,273	570
補助金収入	123	269
特別利益合計	2,396	840
特別損失		
固定資産売却損	419	3,704
固定資産除却損	1,155	5,598
固定資産圧縮損	123	269
特別損失合計	1,697	9,572
税金等調整前中間純利益又は税金等調整前中間純損失（△）	128,690	△67,350
法人税、住民税及び事業税	43,390	13,589
法人税等調整額	△1,398	△32,960
法人税等合計	41,991	△19,370
中間純利益又は中間純損失（△）	86,699	△47,979
非支配株主に帰属する中間純利益	253	369
親会社株主に帰属する中間純利益又は親会社株主に帰属する中間純損失（△）	86,445	△48,349

（中間連結包括利益計算書）

（単位：千円）

	前中間連結会計期間 （自 2023年4月1日 至 2023年9月30日）	当中間連結会計期間 （自 2024年4月1日 至 2024年9月30日）
中間純利益又は中間純損失（△）	86,699	△47,979
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△2,173	2,239
為替換算調整勘定	—	16,286
その他の包括利益合計	△2,173	18,526
中間包括利益	84,526	△29,453
（内訳）		
親会社株主に係る中間包括利益	84,272	△29,823
非支配株主に係る中間包括利益	253	369

（3）中間連結キャッシュ・フロー計算書

（単位：千円）

	前中間連結会計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前中間純利益又は税金等調整前中間純損失（△）	128,690	△67,350
減価償却費	197,647	240,091
のれん償却額	1,824	1,824
貸倒引当金の増減額（△は減少）	△105	426
賞与引当金の増減額（△は減少）	37,417	42,678
退職給付に係る負債の増減額（△は減少）	14,066	12,759
役員退職慰労引当金の増減額（△は減少）	△832	△22,414
受取利息及び受取配当金	△969	△1,278
支払利息	6,823	13,785
有形固定資産売却損益（△は益）	△1,853	3,133
有形固定資産除却損	1,155	5,598
売上債権の増減額（△は増加）	△60,552	61,265
棚卸資産の増減額（△は増加）	△125,919	25,154
未収入金の増減額（△は増加）	48,490	△66,395
仕入債務の増減額（△は減少）	△13,629	30,959
補助金収入	△123	△269
固定資産圧縮損	123	269
その他	15,584	△32,366
小計	247,839	247,872
利息及び配当金の受取額	969	1,278
利息の支払額	△6,281	△14,458
補助金の受取額	123	—
法人税等の支払額	△44,309	△20,837
営業活動によるキャッシュ・フロー	198,341	213,854
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△367,057	△303,553
有形固定資産の売却による収入	3,226	4,863
有形固定資産の除却による支出	—	△5,517
投資有価証券の取得による支出	△8	△9
貸付けによる支出	△310	△12,260
貸付金の回収による収入	2,620	1,614
ソフトウェアの取得による支出	△385	—
その他	△28	2,509
投資活動によるキャッシュ・フロー	△361,943	△312,352
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額（△は減少）	150,000	89,178
長期借入れによる収入	100,000	300,000
長期借入金の返済による支出	△119,850	△274,124
配当金の支払額	△41,296	△41,305
リース債務の返済による支出	△4,436	△2,545
財務活動によるキャッシュ・フロー	84,416	71,202
現金及び現金同等物に係る換算差額	—	1,130
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	△79,185	△26,165
現金及び現金同等物の期首残高	779,750	696,356
現金及び現金同等物の中間期末残高	700,564	670,191

（4）中間連結財務諸表に関する注記事項

（会計方針の変更に関する注記）

（「法人税、住民税及び事業税等に関する会計基準」等の適用）

「法人税、住民税及び事業税等に関する会計基準」（企業会計基準第27号 2022年10月28日。以下「2022年改正会計基準」という。）等を当中間連結会計期間の期首から適用しております。

法人税等の計上区分（その他の包括利益に対する課税）に関する改正については、2022年改正会計基準第20-3項ただし書きに定める経過的な取扱い及び「税効果会計に係る会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第28号 2022年10月28日。以下「2022年改正適用指針」という。）第65-2項(2)ただし書きに定める経過的な取扱いに従っております。なお、当該会計方針の変更による中間連結財務諸表への影響はありません。

また、連結会社間における子会社株式等の売却に伴い生じた売却損益を税務上繰り延べる場合の連結財務諸表における取扱いの見直しに関連する改正については、2022年改正適用指針を当中間連結会計期間の期首から適用しております。当該会計方針の変更は、遡及適用され、前中間連結会計期間及び前連結会計年度については遡及適用後の中間連結財務諸表及び連結財務諸表となっております。なお、当該会計方針の変更による前中間連結会計期間の中間連結財務諸表及び前連結会計年度の連結財務諸表に与える影響はありません。

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

I 前中間連結会計期間(自2023年4月1日 至2023年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント		合計
	生産卸売	直販	
売上高			
外部顧客への売上高	2,796,109	836,432	3,632,541
セグメント間の内部売上高 又は振替高	240,625	2,479	243,104
計	3,036,734	838,911	3,875,646
セグメント利益	203,592	58,219	261,812

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と中間連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	261,812
のれんの償却額	△1,824
全社費用(注)	△212,334
中間連結損益計算書の営業利益	47,653

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費及び品質管理費用であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
該当事項はありません。

II 当中間連結会計期間(自2024年4月1日 至2024年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント		合計
	生産卸売	直販	
売上高			
外部顧客への売上高	2,960,149	816,327	3,776,477
セグメント間の内部売上高 又は振替高	236,238	3,493	239,731
計	3,196,387	819,821	4,016,209
セグメント利益又は損失 (△)	142,552	△11,143	131,408

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と中間連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容
（差異調整に関する事項）

（単位：千円）

利益	金額
報告セグメント計	131,408
のれんの償却額	△1,824
全社費用（注）	△228,718
中間連結損益計算書の営業損失（△）	△99,134

（注）全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費及び品質管理費用であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

該当事項はありません。

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。